

概要：多種多様な観測データを収集し、品質管理・フォーマット変換を行うとともに、大容量データの検索、可視化、時間的・空間的な相関関係の解析など高度な情報処理を集中的に行うことによって社会的、科学的に有用な情報に変換して提供するシステムの実現を図る。

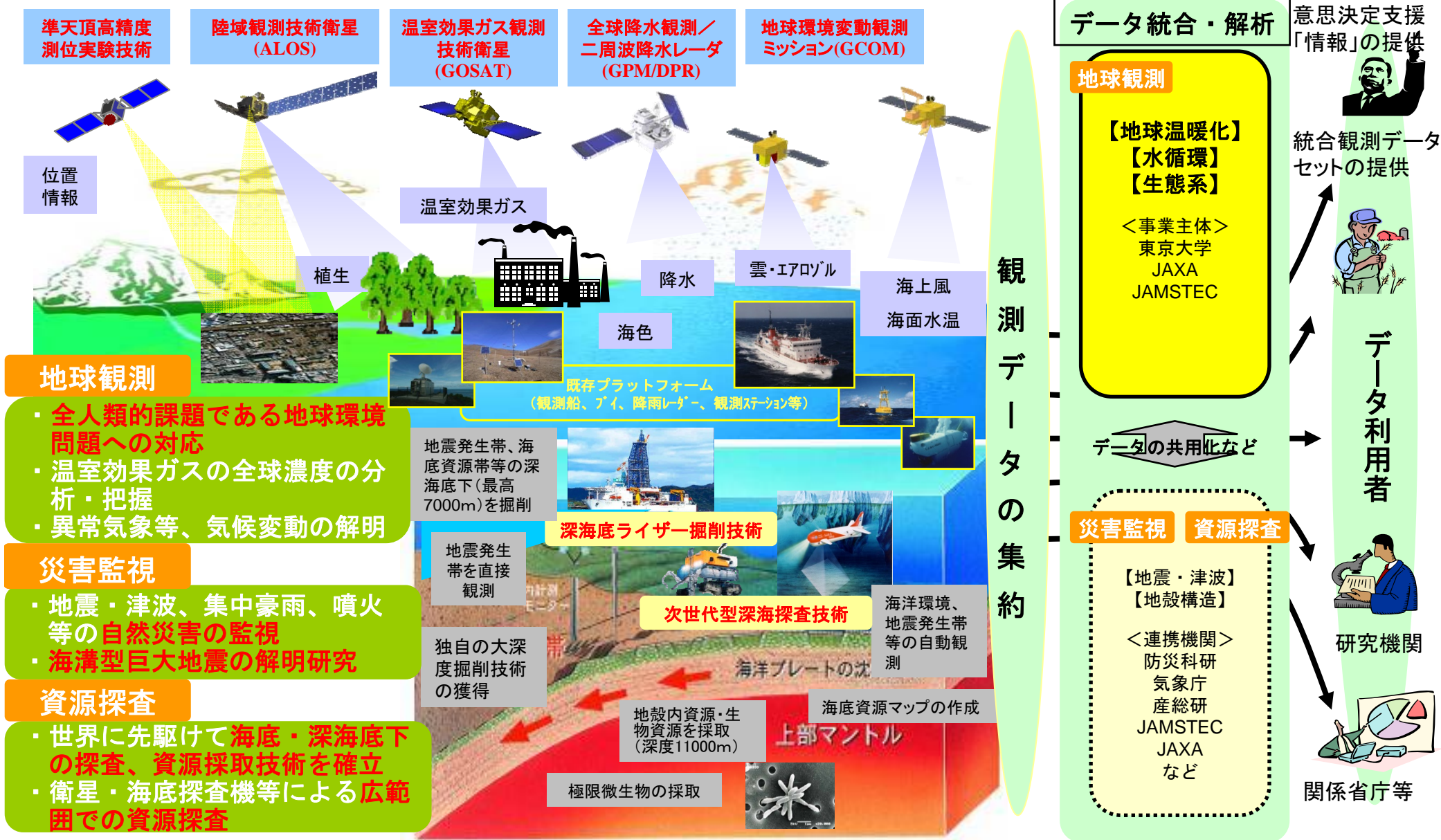
実施期間（プロトタイプ開発）：5年間（平成18～22年度）

予算 H18：3.5億円、H19：6.2億円、H20：6.2億円

実施機関： 東京大学、海洋研究開発機構、宇宙航空研究開発機構
京都大学、情報・システム研究機構、慶應義塾大学
農業環境技術研究所、農業・食品産業技術総合研究機構

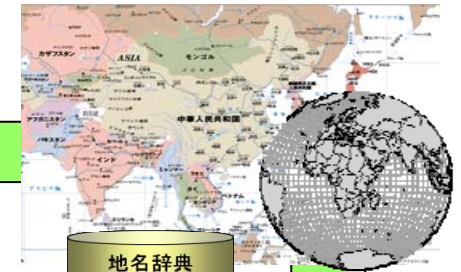
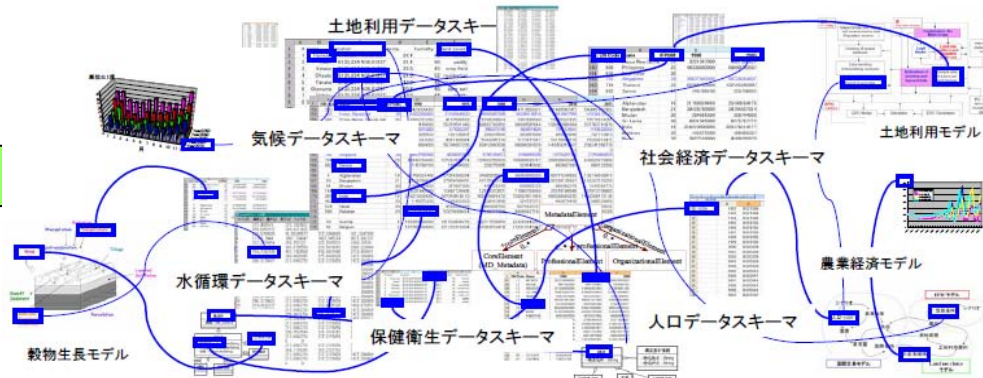
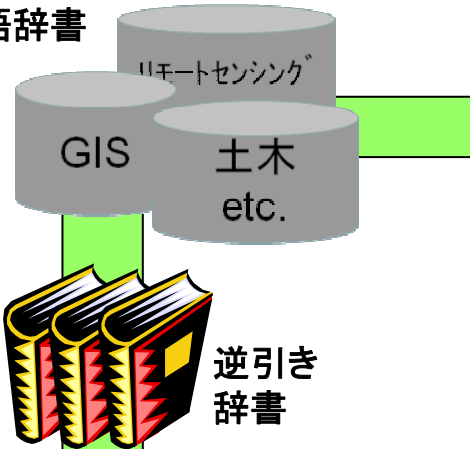
国家基幹技術「海洋地球観測探査システム」

国家基幹技術として、宇宙から深海底下まで、わが国の総合的安全保障に不可欠な観測・探査活動(地球観測、災害監視、資源探査)の基盤となるシステムを確立する。



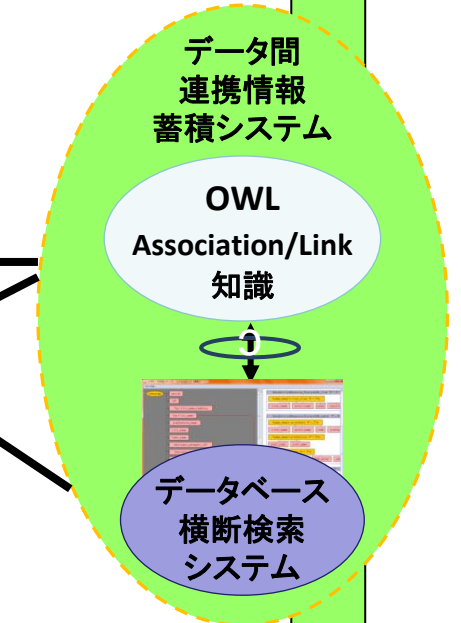
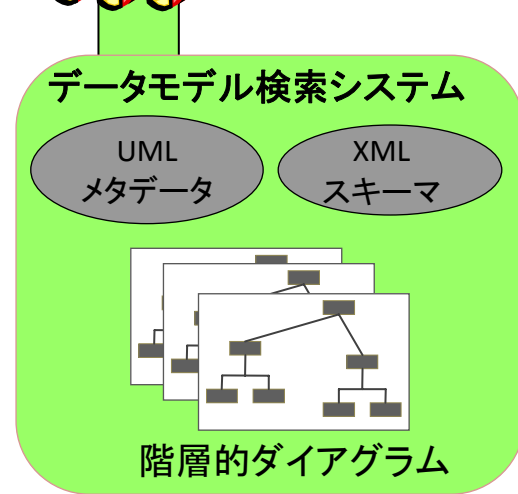
最先端ソフト・ハード情報科学技術 による地球環境イノベーション: データ統合・解析システム

専門用語辞書

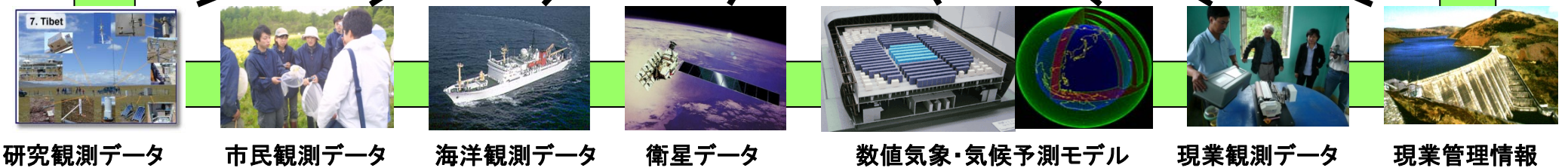


地名辞典
地名辞典

データ・情報の超多様性・複雑な関連性



様々な情報源からの超大容量データ



研究観測データ

市民観測データ

海洋観測データ

衛星データ

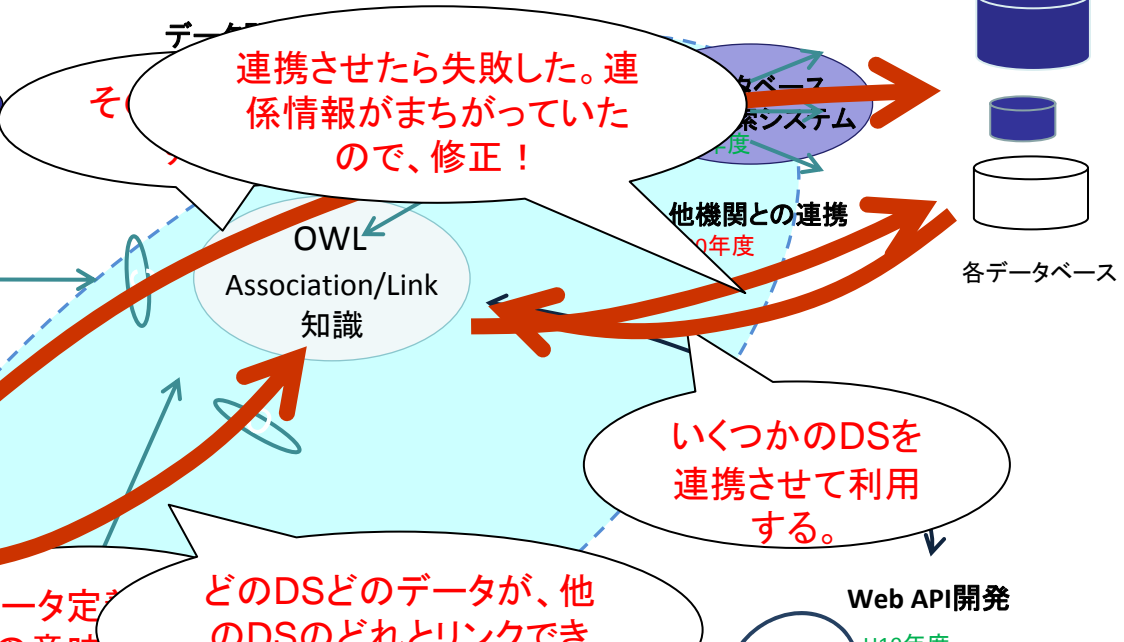
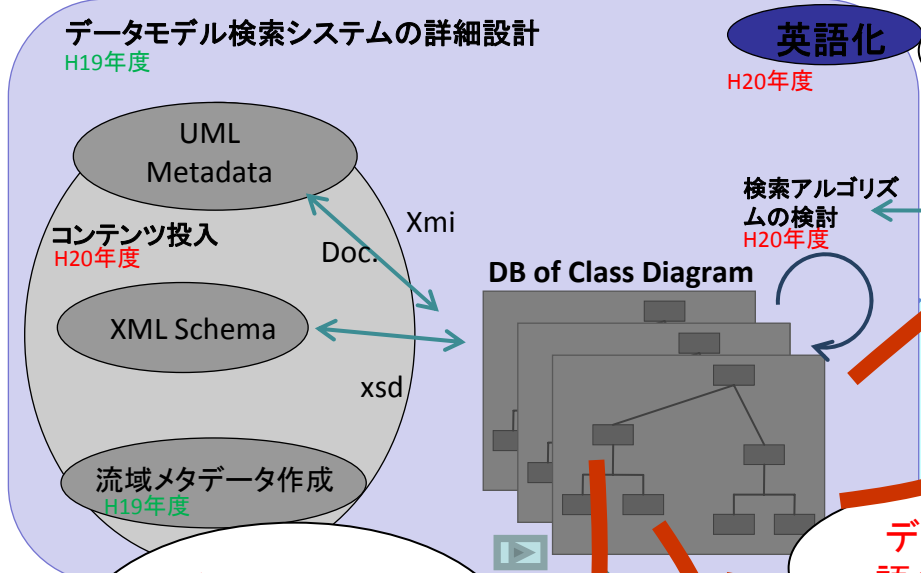
数値気象・気候予測モデル

現業観測データ

現業管理情報

分野を超えて共有できる知

データベースを検索する人



データ定義に現れる地名リストを地図上でチェック

Wikiとの連携 H20年度



可視化ツール
H19年度 H20年度



地名辞典
H18年度



専門用語辞書
H18年度



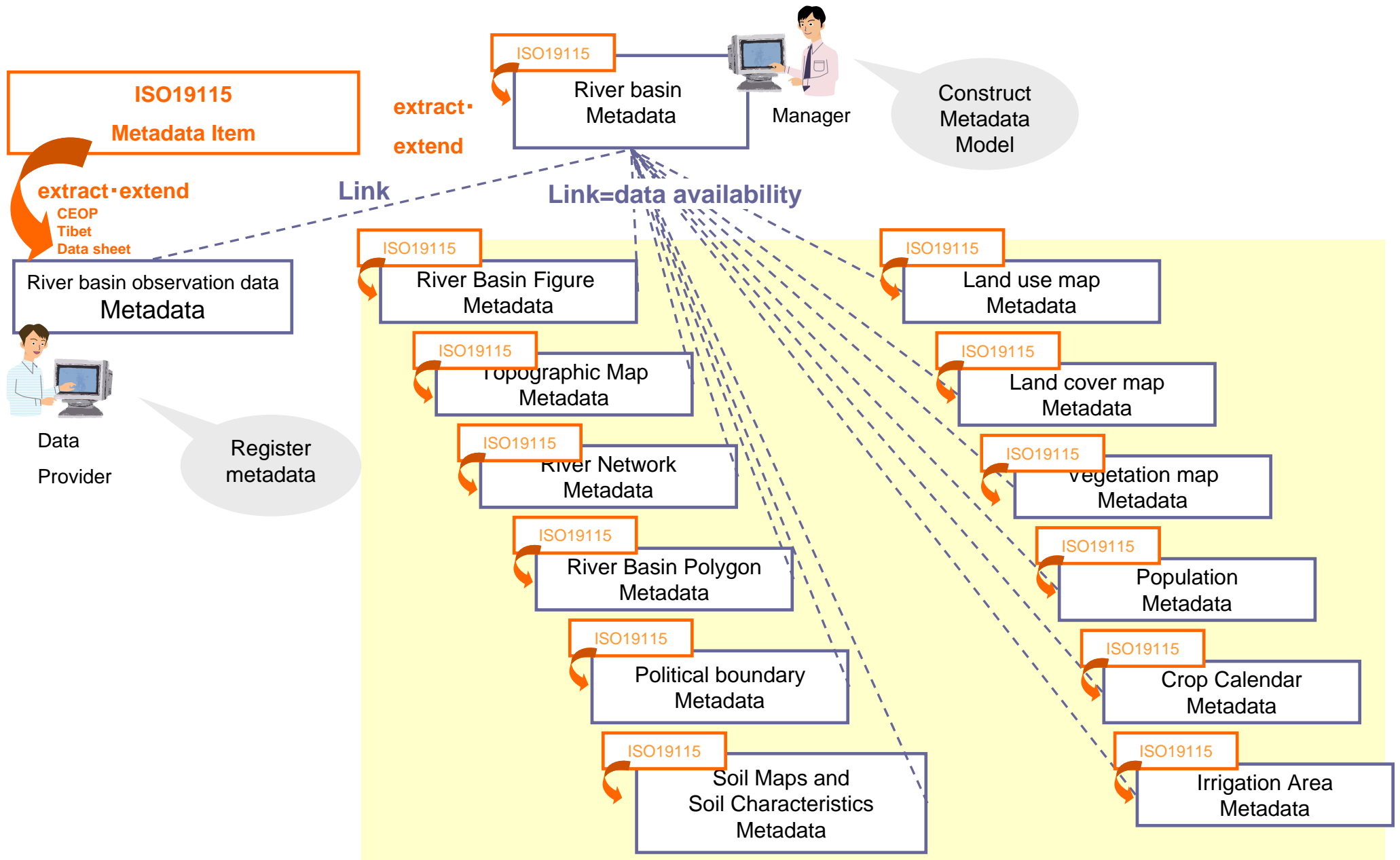
生物監視システム
H18年度 H19年度



逆引き辞書
H19年度



地理情報—水—気象・気候—農業の協力：河川流域メタデータ設計

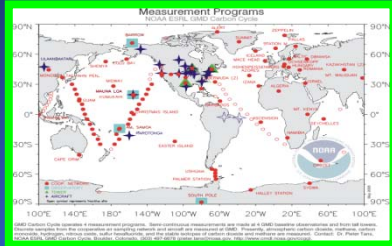


世界で共有できる知

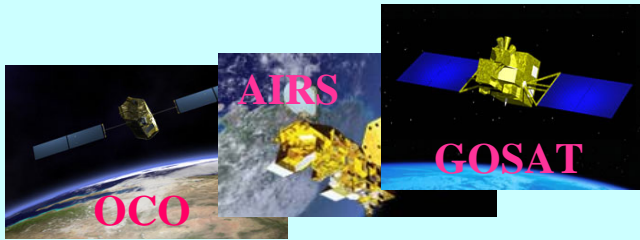
温室効果気体の解析: CO₂

(解析: 丹羽洋介)

地上データ



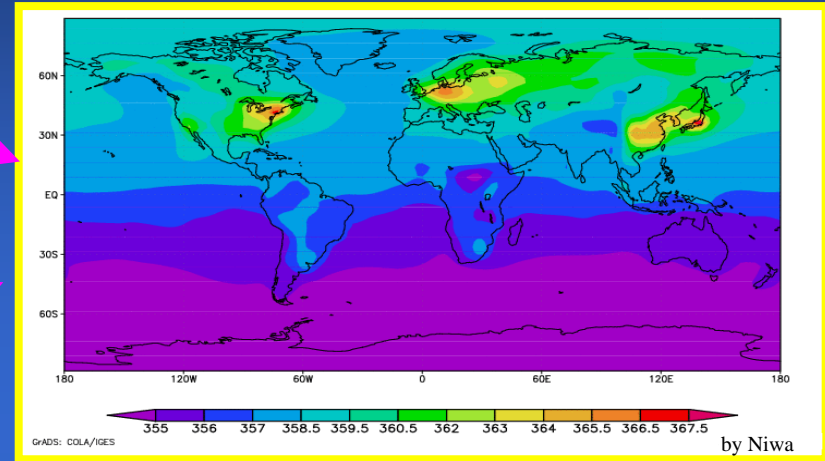
衛星データ



H19

H20~

物質輸送モデル



インバージョン解析

CO₂発生量・吸収量

